

広島国際学院高等学校 同窓会報

第12号 2011年2月28日発行
発行者 広島国際学院高等学校同窓会
(旧広島電機大学附属高等学校同窓会)
広島県安芸郡海田町蟹原2-8-1 TEL 082-823-3401
http://www.hi.hkg.ac.jp/index.html
印刷 株式会社 広島毎日広告社



「ふれあい橋」完成

会員の皆様、お元気ですか。年一回の会報発行が訪れました。
平成22年3月30日、さわやかな春風の中、海田町長山岡寛次様をはじめ多数のご来賓の出席のもとに盛大な「ふれあい橋」の竣工式典が行なわれました。
地域における新しいシンボルとして、また学園と地域がふれあう憩いの場にしたいたいの思いから、三迫川を跨ぐ「ふれあい橋」が完成致しました。
この橋には、環境や省資源・省エネルギー対策を考



同窓会会長

竹内正彦 (S34卒)

慮した太陽光発電による照明が使用されています。
今年度で48回目になる同窓会奨学金給付をはじめ、総会報告や活動報告そしてたくさんの方々の支那だよりには、それぞれのカラーが見受けられ、つつい写真に見入っています。そして、現在の母校の状況に、「我々の時とは異なるんだ」と思いつつも、不思議と懐かしさが湧いてきます。

クラブ活動については、文化系も体育系も、「すごいな・頑張っているな」と感心しています。
特に、硬式野球部の秋季県大会には、胸を弾ませて応援し、甲子園出場に夢を見させていただきました。
同窓会として、中国大会出場時に心ばかりの支援をして参りました。
この会報には、同窓会と学校の一年間がぎゅっと詰まっています。
皆様も知りたい事、お知らせしたい事など、ぜひ投稿していただき、より身近な会報にしていきたいと思っております。
私達の母校と一緒に、末永く発展していく事を願っております。

新しい学園の架け橋 ふれあい橋

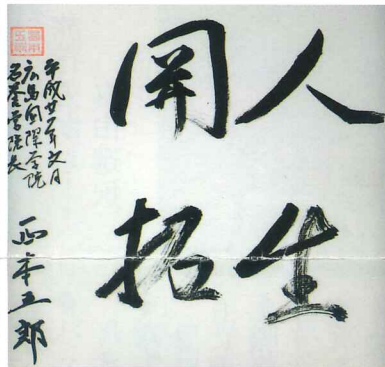


西本五郎
名誉学院長

同窓会々報紙の
発刊にあたって

西本五郎
名誉学院長

悲喜こもごもの人生において、最もすばらしい人間関係は、同じ学校で共に学んだ事や共にクラブ活動等で汗を流したこと、そして、「友の喜びに共に舞い、友の憂いに我は泣く」と言う同窓生間の敬愛と友情がもたらす事象ではないだろうか。
従って卒業生にとつては母校は不滅の存在であり、長く心の古里であつて欲しいと願うものである。
今回の同窓会々報紙の発行は正に時機に適したものと考える。従って、今後更に内容豊かに継続出版されることを念じている者である。



◆同窓会奨学金 給付書授与式

去る、10月25日、校長室において校長先生をはじめ、常任幹事の出席のもとで今年度の「奨学金給付書授与式」を執り行いました。
会長より3名の生徒一人ずつに給付書が手渡され、会長と校長から、それぞれ励ましの言葉を送られました。



奨学金給付書授与式

このように同窓会は、経済面で厳しい生徒を優先的に支援活動を行っております。

◆平成22年度同窓会 総会・懇親会

副会長
村上範美 (S36卒)

平成22年度、「総会・懇親会」が「メルパルク広島」において盛大に開催されました。

ご来賓として学園から西本名誉学院長、鶴理事長、太田校長、森崎教頭をはじめ多くの恩師の元気なお顔を拝見することができ、とても嬉しく思いました。
アトラクションとして本校吹奏楽部OG・OB会50名のみなさんによる数々の力強い演奏を楽しみました。
また、恩師、友人達とテーブルを囲み昔話をしたり、皆でなごやかに過ごしたりして、あつという間に時間がたつてしまいました。
最後に来年の再会を約束して会場を後にしました。



懇親会アトラクション
吹奏楽部OG・OBの演奏

来年度はさらに多くの方々にきていただけるように役員一同、各支部やOB会との連携活動を推進して参りますのでよろしくお願致します。



平成22年度同窓会懇親会

校長就任にあたって



太田茂校長

同窓会の皆さま、この度、第11代校長に就任致しました太田茂と申します。

総合学科が新設され、広島国際学院高等学校が新たな時代を迎えようとするこの時期、校長に就任することとなり、職責の重さに身の震える思いが致します。

歴代の校長先生方が築かれた伝統を守り、さらなる発展に努力を払う所存でございます。

私も目指す学校は明るく楽しい、感動が溢れる、そして品位のある学校です。

教職員の弛まざる教育活動により地域社会に認知され、期待される学校へと成長して参りました。

これからもさらに発展する勢いを感じております。

それは、「教育は愛なり」の建学精神が今日まで連続と受け継がれ、愛に満ちた教育活動が実践されてきた証左でもあります。

地域社会から一層の支持を得られますよう、研鑽を積みみたいと思っております。

同窓会の皆さまをはじめ、教職員、保護者、地域社会の方々にもご協力をいただき、先輩方が築かれた文化を継承しながら、変動する社会に的確に対応するために学校改革を進めなければ

ならないと思っております。関係各位のご協力とご指導をお願いし、校長就任のご挨拶と致します。

教頭就任にあたって



森崎恒夫教頭

このたび高等学校教頭に就任することになりました。

工業科教員として本校に勤務させて頂き、28年が経過しようとしています。

この間に工業科は二度に渡る改編、そして新たな総合学科の誕生へと大きく移り変わりました。

高校入学者数の大幅な減少や普通科指向の中で、本校が安定して入学者数を確保し、さらなる飛躍をするために、昨年、本校の歴史を築いてきた工業科を募集停止し、総合学科創設に至りました。

本校が今まで培ってきた工業科としてのノウハウはこの総合学科に引き継がれていきます。

現在、本校は諸先輩の先生方のお力により、年々その評価を上げ、中学生や保護者から選ばれる学校へと変わってきています。

その地位を不動のものとし、さらに評価される学校にするために、精一杯努力してまいりますので、同窓会の皆様方のご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

修学旅行

4つの旅行先から自由選択



高校生活最大のイベントである修学旅行は1年次に国内2、海外2の4つの旅行先から自由に選択して2年次に実施されます。

今年度は10月14日から4泊5日の日程で北海道、沖縄、ハワイ、韓国の4つのコースで進められました。

5月下旬から時間をかけて事前学習を行ない、生徒一人一人が修学旅行の意義・目標をしっかり把握し、自主研修や体験学習に取り組まれました。

仲間との友情を深め、協調性を高めるとともに、他国の異文化体験や地域の伝統・風習の見聞を通して、感性や視野を広げるとともに、自分の住んでいる地域や国を振り返る機会になったのではないのでしょうか。

毎年参加者数記録更新

オープンスクール開催

オープンスクールが、9月26日に開催されました。今年最高となる2000名以上の中学生・保護者の方に申込みいただき、体育館に大型クレーンを設置するなど様々な対策を取りました。

半日という限られた時間内で、本校の雰囲気を感じ取り味わっていただくために多くの教職員と生徒によって広島国際学院高等学校の日常風景を再現し、参加者に見ていただきました。

公開講座では、本校教員による授業だけでなく、総合学科の生徒を対象に行われる広島国際学院大学の先生方の講座も開講されました。

他の高校ではなかなか真似ができない「大学の先生による高度な授業」です。

このように学院全体の協力を得ておこなわれたオープンスクールですが、来年も参加者の方々の数が増えています。

来年は、更に進化した演技をお見せしたいと思っております。

体育祭

観客を魅了した 集団演技

6月19日(土)、朝方まで降り続いた雨も上がり、クラブの協力を得て、グラウンドを整備し、第62回体育祭が行なわれました。

入場行進に始まり、1年生男子の集団演技は、良く訓練された機敏さにおもしろみを加え、見者を魅了しました。

学年對抗教職員リレーでは、先生達が一生懸命走る姿に、生徒の熱いエールが飛び交い、教師と生徒の一体感が見られました。

2年生のフォークダンスでは、自ら盛り上がりつついこうとする若いエネルギーを感じました。

そして、本校の伝統である盆踊りでは、保護者の方々に着付けの協力を得ながら、一人一人がオリジナルの浴衣で出場し、東広島音頭や広島音頭などを披露してくれました。

今年観客席を500席に増やして臨んだ体育祭ですが、多くの立ち見が出るなど、毎年その数が増えています。

来年は、更に進化した演技をお見せしたいと思っております。

Advertisement for DUSKIN and Crecla water purifiers, listing various branch locations and contact information.

Advertisement for a seafood restaurant '海鮮割烹 第芸三文閣' located near the Hiroshima Bay Bridge, featuring scenic views and special seafood dishes.

Advertisement for the '陸上部OB会' (Track and Field Alumni Association), featuring a group photo of members and contact information for the office.

甲子園は夢ではない 秋季県大会・ 中国大会出場

硬式野球部

9月11日より秋の県大会が開催されまわりました。
本校は2回戦より出場し、崇徳高校に7回コールド勝ち。
3回戦は市立呉高校と対戦し、6対2で勝利。そして、ベスト4をかけ如水館高校と対戦、投打がかみ合い
7対4で勝利することができました。
準決勝は広島高校でした。
格上のチームですが、取つたら取り返すというシーズンゲームとなり、延長戦に突入しました。
4対4で迎えた延長10回にタイムリリーツベースで1点を勝ち越し、これが決勝点となり、5対4で勝つことが出来ました。



この勝利は、チーム全体に大きな自信をもたらしました。
しかし、最後の決勝は尾道高校と対戦、2対4で惜しくも敗退、中国大会出場は決まっていたものの、悔しさが残りました。
8年ぶりの中国大会、10月22日の初戦は島根の安来高校でしたが6対1で勝利し、2回戦にコマを進めました。相手は岡山創志館高校でした。初回に取り戻された2点が最後までのかかり、1対2で惜敗しました。後1本が出ず、14残塁を喫した試

合でしたが、この悔しさをバネに来年度の夏には絶対に甲子園への切符を勝ち取りたいと思います。

全国トップクラスの活躍を成し遂げた ゴルフ部

創部29年目に入りました。本校ゴルフ部のレベルは、現在、全国トップ10に位置しています。
県内の大会、及び中国地区でも2年連続で優勝しています。全国大会でも入賞を果たし、全国から注目されている学校の1つです。

個人では2年生の村山駿君が春の全国大会で3位に入り、7月の中国大会では22年前の倉本プロの記録を更新しコースレコードの62ストローク10アンダーと、素晴らしい記録を打ち立てました。



また、10月に行なわれた千葉県国体では、本校の久志岡俊海君、村山駿君、長谷川祥平君の3名が県代表として選出され、3位入賞を果たしました。以上が今年度のゴルフ部の活動報告です。
来年度も多めに期待して下さい。

近年過去最高順位 期待が膨らむ 陸上競技部

昨年度の第60回広島県高等学校駅伝競走大会では5位入賞を果たし、陸上競技部復活ののろしがりやになりました。
今年度11月7日に三次市で行なわれた、第61回広島県高等学校駅伝競走大会においては見事3位入賞を果たしました。



1年間チーム目標として掲げていた2位には後一歩及びみせんでしたが、校名が広島国際学院高等学校に変わってからは過去最高順位となりました。又、去る1月9日に行われました大竹駅伝では、36年ぶりに優勝できました。

このような結果を出すことが出来たのも、保護者、OB、地域の方々の支えがあったからこそだと思います。本当に有り難うございました。
来年度はさらなる飛躍ができるように、ベストを尽くして頑張りますので、応援よろしくお願ひします。

飛躍のクラブ 高い目標に向かって

- ◆レスリング部
県総体階級別1位3名
インターハイ出場
- ◆柔道部
第59回新人戦にて男女とも中国大会出場

同窓会新幹事紹介

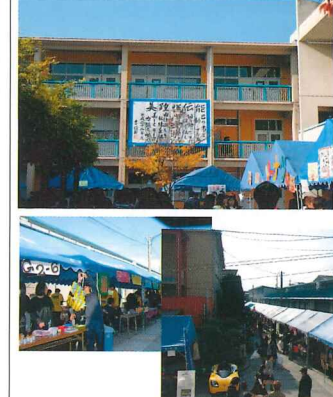
平成22年度卒業生の4名が新たに同窓会の幹事に加わりました。



山方 綾乃さん (普通科6組) 佐伯 乙美さん (普通科1組) 室木 聡美さん (総合システム科2組) 相原 佑耶さん (総合システム科3組)

文化祭を 成功させたもの

今年度もPTA主催のバザーは大人気で行列が出来ていました。また、各クラブの保護者や生徒による模擬店もB1グルメの祭典を見るかのようにでした。
この会場を盛りあげてくれたのは、様々な場面で準備を進めてくれた各クラブや生徒、そして、先生方や保護者のかたがたの協力によるものです。
みなさんの協力で作りあげられた文化祭。
来年度も盛りあげていきたいと思ひます。



先輩のうまい店 『うのはな』

昼は野菜中心の日替わりランチ。夜はお酒とおいしい食事。まあいっぺん来てみて!

鉄板焼居酒屋
Family Dining うのはな
〒730-0042 広島県広島市中区国泰寺町1丁目7-28
広島市役所ウラ コーポ国泰寺1F
TEL/FAX 082-242-4882

広島市役所裏
昼11:30~2:00
夜5:20~10:00

インターネットで広がる世界



http://www.hiroshima-net.co.jp/

インターネットからLAN パソコン販売

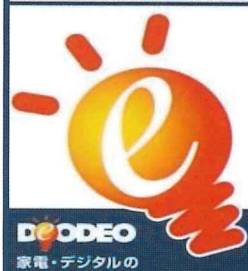
(有) 広島インターネット TEL 082-510-3100

髯プロデュース広島

披露宴・催事・企画演出・研修講座・司会・宴會

〒737-0883 呉市天応西条3-2-17
TEL (0823) 38-7257
FAX (0823) 38-0508
produce_hiroshima@ybb.ne.jp

買って安心、ずっと満足。



デオデオ 小屋浦店

安芸郡坂町
小屋浦2-45-9

TEL (082) 866-8260



次回総会でお会いしましょう

総会・懇親会は、会員の皆さんが一同に集まることのできる唯一の機会です。

学生時代を振り返りながら恩師や友と語り合い、楽しいひとときにしませんか。

事務局では多くの方に参加いただけるように新聞広告(中国・毎日新聞の一週間前日曜版)や郵送で案内しております。

しかし全ての方へのご案内には無理がありますので、仲間や知り合いの方にお知らせいただき一緒に参加ください。

グループ毎のテーブルも用意できます。

総会でお会いしましょう!

平成23年度「総会・懇親会」のご案内

期日 平成23年6月25日(土)
 場所 広島ガーデンパレス
 広島市東区光町1-15
 申込み 広島国際学院高校 同窓会事務局
 Tel 082-823-3401 Fax 082-822-7197



安佐支部総会



矢野支部総会



電消会総会



安浦支部総会

◇支部だより

平成22年度 同窓会活動中間報告

- 4月4日(土) 役員会開催
- 4月8日(木) 第64回 入学式参列
- 5月1日(土) 会計監査実施
- 5月7日(金) 役員・幹事・支部長合同会議開催
- 6月22日(火) 常任幹事会開催
- 6月26日(土) 平成22年度「総会・懇親会」開催
- 9月30日(木) 役員会開催
- 10月15日(金) 第1回会報編集委員会、役員会開催
- 10月25日(月) 同窓会奨学金「給付書授与式」挙行



文化祭



ふれあい橋

- 11月21日(日) 母校「文化祭」参観
- 12月9日(木) 役員・幹事・支部長合同会議開催
- 12月24日(金) 第2回会報編集委員会開催
- 2月28日(月) 同窓会入会式挙行 同窓会報発行
- 3月1日(火) 卒業証書授与式

◇同窓会・支部活動◇

職域・支部総会が開催されました。

- ◇矢野支部 平成22年7月3日(土) すし竹(熊野店)
- ◇坂支部 平成22年9月19日(日) 小屋浦集会所
- ◇熊野支部 平成22年11月13日(土) すし竹(熊野店)
- ◇安浦支部 平成22年10月23日(火) 割烹 八千代
- ◇安佐支部 平成22年12月19日(日) ラウンジ 純
- ◇電消会 平成22年3月12日(金) リーガロイヤル広島(職域)

平成22年度 同窓会役員



- | | | |
|------|-------|---------|
| 会長 | 竹内正彦 | (昭34年卒) |
| 副会長 | 村上範美 | (昭36年卒) |
| | 林昭治 | (昭41年卒) |
| | 奥田幸一 | (昭43年卒) |
| | 工藤三千代 | (昭43年卒) |
| | 山藤千代美 | (昭53年卒) |
| 幹事長 | 藤田準二 | (昭41年卒) |
| 事務局長 | 土居茂 | (昭41年卒) |
| 書記 | 北篤志 | (平8年卒) |
| | 船田京子 | (平9年卒) |
| 会計 | 竹上力 | (昭50年卒) |
| 監査 | 細井濟 | (昭40年卒) |
| | 市川豊 | (昭58年卒) |



坂支部総会

今年度より、全国でも数少ない普通科と総合学科を持つ学校となりました。

総合学科は2年次より4つの系列から自由に選択ができる制度を設け、生徒の個性や適性に応じた進路保障を推進することを目的としています。

これは公立校に比べて教科の選択肢が格段に多く、これが大きな魅力となっており、これが大きな期待するものであります。

クラブ活動が年を重ねること

学園短信

事務局長

土居 茂 (S41卒)

母校は時代の変化とともに発展を続けております。

昭和2年(1927年)の創立以来、早くも83年の歳月が経過しました。

校舎は冷暖房が完備し快適な学習環境が整い、校門を入った瞬間から“美しい学校”そして“挨拶の飛び交う学校”と感じます。

教育内容においては、時代のニーズにあった学科やコースが設置され、現在では男子校から男女共学校のイメージが広く社会に浸透してきました。

同窓会報も12年目の第12号を発行することになりました。

「継続は力なり」と言われますが、多くのみなさんの力の結集であり、ご支援、ご協力の賜ものと感謝申し上げます。

これからも、同窓会や学園の情報をもっと卒業生にお伝えできるように内容を充実し継続して参ります。

編集委員長 奥田幸一 (S43年卒)

に大きく飛躍しております。

生徒たちのクラブへの参加率が大きく大所帯のクラブが増えってきました。

ゴルフ部やレスリング部が全国大会で活躍する中、今年は中大会へ硬式野球部、陸上競技部、柔道部、バトミントン部が出場し活躍してくれました。

吹奏楽部は来年度夏、全国高校総合文化祭への出場が決定しています。

同窓会はクラブ活動に対しても支援をしております。

文武両道のもとに母校がますます発展することを祈念します。

◇編集後記◇

同窓会報も12年目の第12号を発行することになりました。

「継続は力なり」と言われますが、多くのみなさんの力の結集であり、ご支援、ご協力の賜ものと感謝申し上げます。

これからも、同窓会や学園の情報をもっと卒業生にお伝えできるように内容を充実し継続して参ります。

編集委員長 奥田幸一 (S43年卒)

自動制御設備・設計施工・ハーネス製作

FUJITA ENGINEERING

株式会社 藤田エンジニアリング

〒739-1733 広島市安佐北区口田南1丁目8-47

TEL (082) 843-2305 (代)

FAX (082) 842-6989

E-mail fujital@enjoy.ne.jp

公認 テクノ自動車学校

〒731-4213 広島県安芸郡熊野町5640-1

TEL 082-854-4000 (代表)

フリーダイヤル 0120-39-1859

URL http://tekuno.info

E-mail: tekuno@urban.ne.jp

無線中継システム 防災、消防無線、設計施工

MDS

マツケン 松電産業株式会社

〒733-0002 広島市西区楠木町1-7-7

TEL 082-234-5050 (代)

FAX 082-234-8256